

1 学年通信

平成28年 6 月21日

Breakthrough

No. 4

祭は終わった さあ、始めよう

緑高祭は、楽しかったでしょうか。準備のために費やした時間は、友情の深化やクラスの団結のために必要な時間であり、人生にとって大切な時間だったと思います。お疲れ様でした。

さて、お祭りは終わりました。もう6月下旬です。6月30日(木)からは、第2回定期考査が始まります。今回も定期考査学習会を23日(木)から行います。第1回定期考査での失敗を反省し、しっかりした準備で試験に臨んでください。

◆全国偏差値を知ろう

7月9日(土)に模擬試験があります。試験は、国語・数学・英語の3教科です。4月からの集大成として真剣に取り組んでください。模擬試験で示される偏差値は、高校受験のために中学校で提示された数値とは大きく異なります。模擬試験において、何点とればどのくらいの偏差値になるかを実感してください。

先日、進路指導部から「進研模試 合格ライン2016【高1生・高2生用】」が配付されましたが、自分の希望先を確認しましたか。各大学学部学科に合格した人の進研模試での平均点と、偏差値が掲載されています。高校受験から、大学受験に切り換え、自分の希望する進路先の情報をしっかり把握するようにしましょう。大学入試は、受験生を落とすために行う試験です。全国の大学受験希望の生徒が受ける試験ですので、難しいのは当然です。また、問題も多量です。問題の難易度や時間配分を体験することも、模擬試験の目的の一つです。模擬試験を体験し、大学入試の現実を知りましょう。

ベネッセコーポレーションの進研模試デジタルサービスを使って、志望校への可能性を確認すると良いでしょう。「マナビジョン」に志望校を登録すると、自分のGTZ(学力到達ゾーン)が確認できます。また、志望校以外の大学も検索できます。試験の実施前までに各自登録をしてください。

定期試験でもそうですが、模擬試験後は、必ず見直しをしてください。結果はすぐに返ってきませんが、解答・解説は渡されます。業者の採点をまたず、自己採点を必ずしましょう。その際、得点を伸ばすためにはどのような学習に取り組むべきかも考えてください。定期考査と模擬試験を別のものとする人がいますが、模擬試験は、あくまで授業や定期考査の延長上にある試験です。毎日の予習、授業、復習がきちんとできていれば模擬試験も必ずできます。自己採点をとおして、自己分析をおこない、何が足りていないのか、自分の抜けている部分を認識し、夏休みの課題にしましょう。

◆進路希望先は決まりましたか

6月24日(金)6時間目に、学科コース選択説明会が行われます。前回は、概要を説明しました。今回は、各教科の先生方から、各コースでの教科の特色と、科目選択について説明をいただきます。コース選択同様科目選択も、確定した後は変更できません。自分の将来をしっかりと想定して決めてください。9月には保護者向けの説明会がありますが、生徒に対する説明会は今回で終わりです。9月に予備調査を行いますので、夏休みを利用してオープンキャンパスに参加するなど、各自情報を集め、進路希望先を明確にして、コース及び科目選択をしてください。

◆キャリア講演会

6月2日に行われた、キャリア講演会はいかがでしたか。荻原さんの言葉をしっかり受け止めましたか。キャリア(career)とは、「職業・技能上の経験 経歴」のことです。将来、社会人になった時に、必要な知識や心構え、生き方を身につけることがキャリア教育と呼ばれるものです。

現在ある仕事の多くは、人工知能に取って代われるとの予測があります。子ども達の多くは、今現在、存在していない仕事に就くだろうとの予測もあります。その様な、激しく変化する社会の中で、希望を持って自立的に自分の未来を切り拓いて生きていけますか。社会の激しい変化に流されることなく、様々な課題に、柔軟かつたくましく対応し、社会人として自立していくことができますか。荻原さんは、「7年後、どのような社会になっているか。皆さんは、何をしているのでしょうか。」とおっしゃっていました。続けて「人に評価されることは、大事ですが、人の評価は自分ではどうしようもない。やりたいこと、自分のできることをしっかりやる。」と述べられ、司馬遼太郎の『竜馬がゆく』の話をされていました。

世の中の 人は何とも 云えはいへ わがなすことは われのみぞ知る

周囲の目を気にするより、自分が今やらなければと思ったことをやりましょう。荻原さんが、講話の中で「学生時代にやるべきこと」として掲げたものを載せておきます。もう一度、荻原さんの話を思い出し、やるべきことにベストを尽くしてください。

◆進路資料配付

学習進路指導部より「進路資料」が配付されます。まずは、「合格体験記」をじっくり読んでください。多くの先輩がどのように受験の時期を乗り越えたかが、書かれています。小テスト、定期テストをしっかりとこなすことが、進路実現につながります。皆さんは、すでに受験生です。今、学んでいることを確実に自分のものとし、さらに知識を積み重ねていってください。1、2年生の努力が後で必ず役に立ちます。

一灯をさげて暗夜を行く、
暗夜を憂うなかれ、
一灯を頼め
佐藤 一斎

★学生時代にやるべきこと

- ・人間力を高める(交友，読書，社会に関心)
- ・失敗を恐れない(挑戦する，恋愛？)
- ・自己認識(得意・熱中することを持っているか)
- ・勉強(特に語学は生きる力として今後必要)
- ・クラブ活動や委員会活動(役割の果たし方)
- ・健康(スポーツや食生活)
- ・社会的常識を身につける(コンプライアンス)
- ・旅行(含む留学)，アルバイト，社会貢献活動

◆敵は常に己

4月に行われた「かすみがうらマラソン」は、暴風雨の中のマラソンになりました。雨が真横から吹き付ける中、前を行く人の背中をじっと見つめ走りました。30キロを過ぎたあたりで、前を走る人の背中から元気をもらいました。その背中に書かれた文字が右の画像にある「敵は常に己」。マラソンでも勉強でも、敵は他人ではなく、自分自身です。皆さんも自分に負けないで頑張れ。



はきものを そろえと 心もそろう
心がそろうと はきものもそろう

ぬぐときに そろえておくと
はくときに 心がみだれない

だれかが みだしておいたら
だまって そろえておいてあげよう

そうすればきっと
世界中の 人の心も そろうでしょう
藤本幸邦